



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手をとって、明るく、あわせな社会を建設する姿」を表現しています。

# いわき市 社会福祉協議会だより

第124号  
平成29年9月20日発行  
編集・発行

社会福祉法人  
いわき市社会福祉協議会  
いわき市平字菱川町1番地の3  
(いわき市社会福祉センター内)  
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031  
ホームページ <http://www.iwaki-shakyo.com>  
メールアドレス [master@iwaki-shakyo.com](mailto:master@iwaki-shakyo.com)

平成29年度 福島県共同募金会 赤い羽根共同募金運動スローガン 優秀賞作品

ともに支える  
みんなの未来

赤い羽根  
ともに創る

協力が  
福祉へつながる第一歩



福島工業高等専門学校  
五年 鈴木 秀さん

福島県立いわき海星高等学校  
三年 木田 朱乃さん

## 目次

今年も共同募金にご協力をお願いいたします	2
役立てました！共同募金	3
報告します 平成28年度事業報告・決算	4～5
つどいの場創出支援事業	
ボランティア活動センター通信	6
社協通信	7
地区協議会だより	8

愛ちゃんと希望くん



© 中央共同募金会  
共同募金会イメージキャラクター



**今年も共同募金にご協力をお願いいたします**



社会福祉法人  
福島県共同募金会  
いわき市共同募金委員会  
会長 **宇佐美 忠一**

皆さまには、毎年、共同募金にご支援とご協力を賜り、深く感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。今年も赤い羽根共同募金は、10月1日から全国一斉に「赤い羽根は小さなことをたくさんしています」をテーマとして、地域の皆さま、多くの団体のご協力をいただき募金運動が展開されます。

お寄せいただきました募金は、民間福祉施設の整備や福祉団体の育成、小規模作業所等の活動支援、さらには風水害時の救援活動支援、罹災者への見舞金等に配分されています。

また、歳末たすけあい募金は、新しい年を迎えるため支援を必要としている人々が安心して暮らすことができるよう、年末に実施している募金です。

いわき市共同募金委員会は、今年度も東日本大震災被災者支援として「被災地住民支え合い活動」についても助成を行うなど、地域福祉のまちづくりに努めて参りますので、今年も皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



**平成29年度 いわき市の目標額**

**赤い羽根共同募金 5,421万7,000円**  
**歳末たすけあい募金 2,604万2,000円**

- 赤い羽根共同募金は、一戸あたり500円を目安としております。
  - 歳末たすけあい募金は、一戸あたり300円を目安としております。
- 共同募金は民間社会福祉施設、団体の施設整備や福祉事業に配分することを目的として、使いみちの計画を立ててから行う計画のため、目標額が設定されています。



共同募金(歳末たすけあい募金を含む)は、社会福祉法に定められている民間の募金活動です。10月1日から3月31日まで全国一斉に行われます。

**“ありがとう”メッセージ**

オリーブ 工房 阿列布



私たち工房阿列布は、障害福祉サービス(生活介護・就労継続支援B型)の事業所です。

リサイクルせっけん、弁当・惣菜の製造の他、生活介護が必要な方の身辺自立に向けた訓練を行っています。

当事業所では広域から利用する方が多いため、送迎サービスは欠かせません。また、利用者のご家族の高齢化に伴いリフト付車両などの配慮も必要となつてまいります。

今回、車両を整備出来たことで利用者やご家族のニーズに今まで以上に応えることが出来ました。

本当にありがとうございました。



# 役立てました！共同募金

平成  
28年度

**赤い羽根共同募金 5,430万1,337円**

**歳末たすけあい募金 2,606万8,629円**



© 中央共同募金会

お寄せいただいた募金は、福島県共同募金会に集められ、配分委員会の審議を経て、県内の福祉施設や福祉団体などへ配分される仕組みになっています。

## ●赤い羽根共同募金の使われ方●

いわき市には、総額4,805万円が配分されました。

① 安心して利用しやすい福祉施設づくりとして12施設へ2,171万円が配分されました。(単位：万円)

受配施設名	配分額	配分金の使途	受配施設名	配分額	配分金の使途
いわき学園	300	送迎用マイクロバス整備事業	第2チャーム	210	屋根補修及び外壁改修事業
はまぎく荘	300	受水槽改修事業	エルファロ未来空間	119	送迎用車両整備事業
悠々の里	300	給油ボイラー更新事業	あい一番	100	送迎・搬送用車両整備事業
工房阿列布	243	送迎用車両整備事業	自立生活きらきら	100	味噌攪拌混合機整備事業
ゴールデンハーブアルケン	236	送迎用車両整備事業	てらす	25	小規模障がい者施設運営費
未来ファーム	213	農作業用農薬噴霧車両整備事業	まごころワークたんぼぼ	25	小規模障がい者施設運営費

② 市町村社会福祉協議会活動を推進するために2,617万円が配分されました。(単位：万円)

受配団体名	配分額	配分金の使途
いわき市社会福祉協議会	2,617	地域福祉活動・在宅サービス事業など

③ 非常災害や緊急事態に対する見舞金として罹災者<sup>りさい</sup>に17万円が贈られました。(単位：万円)

	配分額	配分金の使途
災害見舞金	17	火災や水害の罹災者 <sup>りさい</sup> への見舞金(火災16件)

## ●歳末たすけあい募金の使われ方●

いわき市には、総額1,926万円が配分され、市内の低所得者世帯などの皆さまへ届けられました。(単位：万円)

配分などの区分	配分額	配分金の使途
見舞金	1,104	生活困窮世帯(901世帯)*在宅のひとり暮らし高齢者、障がい者、ひとり親世帯など
地域福祉事業	822	防水シートや高齢者世帯への健康情報カレンダー配布、児童養護施設入所者お年玉支給など

## 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金2(被災地住民支え合いサポート募金)」 「被災地住民支え合い活動助成事業」のご案内



福島県内の地元住民による支え合い活動やボランティア活動の輪を広げ、人々のつながりや被災地域、避難地域居住者のコミュニティ再興などに取り組む団体の支援を目的に行いますので、ぜひご活用ください。

- 対象団体 福島県在住者5名以上で構成されているボランティアグループやNPO法人等の非営利団体
- 対象活動 平成29年度に実施する助け合い活動及びボランティア活動(生活支援活動、サロン活動、季節の行事、住民交流事業)
- 助成金額 1団体につき、1回10万円の応募を上限

ご活用ください!

詳しくは

福島県共同募金会  
☎ 024-522-0822  
いわき市共同募金委員会  
☎ 23-3320(代)まで!

申請用紙についてはこちらからダウンロードください。

<http://www.akaihane-fukushima.or.jp/>

赤い羽根ふくしま

検索

# 実施した主な事業

- **地域子育て支援拠点事業**  
延利用者数：大人 4,935人  
子ども 5,216人  
相談件数：208件
- **子育てサロン事業**  
実施箇所数：21カ所  
実施回数：254回  
延参加組数：3,270組
- **いきいきデイクラフ事業の実施**  
市内138箇所 実施回数：1,642回  
延参加者数：25,252人
- **避難行動要支援者マップ作成事業**：10カ所  
● **緊急連絡カード(兼)医療情報キット配備事業**  
配備者数：6,728人
- **住民支え合い活動づくりモデル事業**  
市内15地区(8地区新規指定)
- **小地域福祉活動**  
市内31行政区(6,978世帯)指定

## 報告します

### 平成28年度事業報告・決算

平成28年度の事業推進にあたりましては、第3次地域福祉活動計画に基づき、「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができるまち いわき」の実現に向けて、関係機関・団体などとの協働のもと地域に密着した福祉サービスの拡充に努めるとともに、適正な予算執行に努めました。

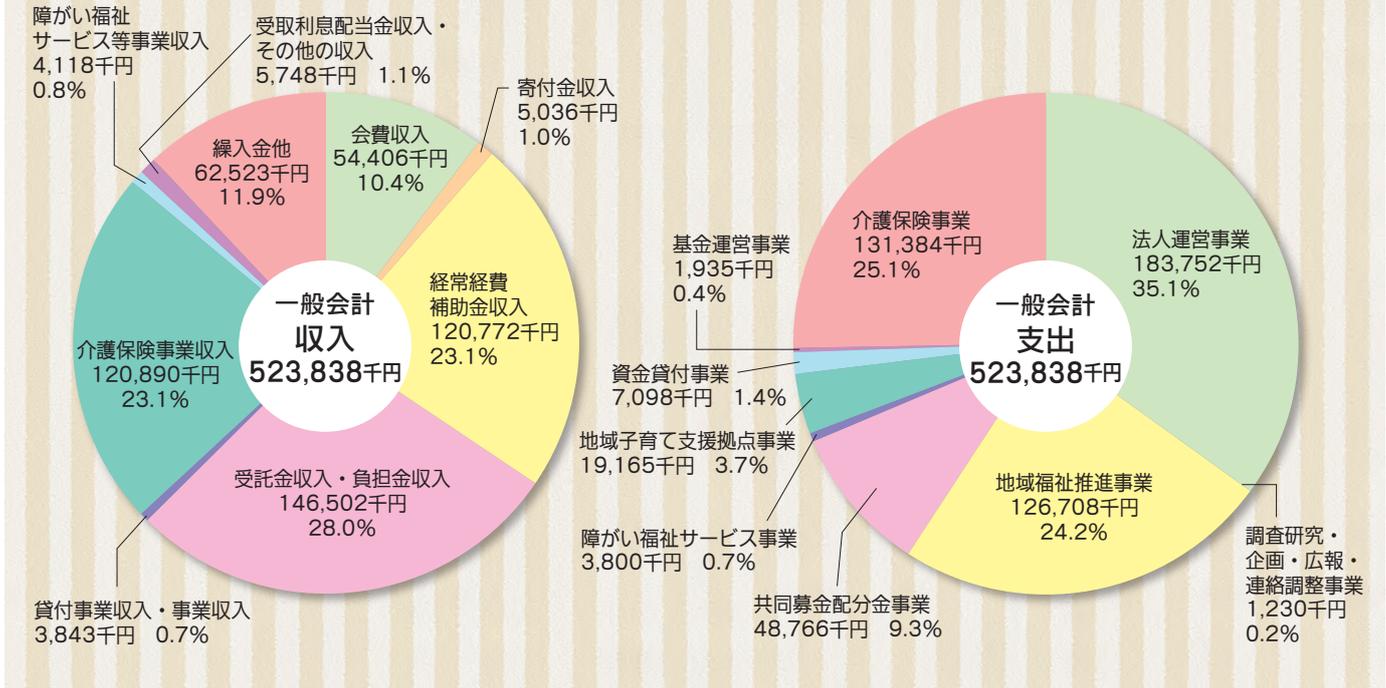
## ★地域福祉事業

- **いわき市屋内遊び場**  
延利用者数：大人 23,094人  
子ども 24,513人
- **たすけあい子育てフードバンク事業(新規)**  
登録件数：16件
- **車椅子同乗移送用自動車の貸し出し**  
利用件数：67件
- ★ **ボランティア活動センター事業**  
● ボランティア相談：125件  
● 児童・生徒向け福祉体験プログラム  
延参加児童・生徒数：7,115人  
● サマーショートボランティアスクールの実施  
参加学校数：13校  
参加生徒数：116人
- **復興支援ボランティア活動センターの運営**  
延ボランティア活動者数：449人
- ★ **福祉総合相談センター事業**  
● 心配ごと相談 312件  
● 無料法律相談 85件  
● ふれあい相談 1,663件
- ★ **日常生活自立支援事業(あんしんサポート)**  
契約件数：23件(利用人数67人)
- ★ **各種貸付事業**  
● **生活資金** 貸付件数：145件  
(総額 313万260円)  
● **生活福祉資金** 貸付件数：146件  
(総額 1,514万7,000円)

- ★ **被災者支援事業**  
● **生活支援相談員の配置**：18人  
対象世帯数：235世帯  
延訪問状況：8,516件  
交流会実施回数：92回
- ★ **募金運動の推進**  
● **赤い羽根共同募金運動**  
募金実績額：5,430万1,337円  
● **歳末たすけあい運動**  
募金実績額：2,606万8,629円
- ★ **福祉人材確保事業**  
● **福祉の仕事相談会** 相談件数：19件
- ★ **ホームヘルプセンター事業**  
● **在宅福祉サービス事業**  
居宅介護支援事業：2,776人  
訪問介護事業：1,020人 (10,187回)  
訪問入浴介護事業：653人 (2,395回)  
予防訪問介護事業：616人 (3,583回)
- **身体障がい者訪問入浴サービス事業**  
延利用者数：166人(734回)
- **障がい福祉サービス事業**  
延利用者数：168人(1,583回)



# 平成28年度 収入・支出のあらまし



## 一緒にリフレッシュしませんか？

### つどいの場創出支援事業

つどいの場創出支援事業（市受託事業）は、介護予防事業を住民主体で参加しやすいものとするため、高齢者を年齢や身体状況によって分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる住民主体の介護予防事業です。

本会においては、平成18年度から「いきいきデイクラブ事業」を市より受託し実施してきましたが、本年度よりこれに代わる事業として「つどいの場創出支援事業」を実施していくこととなりました。

つどいの場が住民主体の活動として地域に定着し、高齢者の身近な介護予防活動の拠点となるよう整備を行い、活動支援の担い手となるよう取り組んでいきますので、実施地区内の皆さまのご協力をお願いいたします。

#### 事業内容例

- ① 運動を通じた健康づくりや介護予防に関すること
- ② 正しい栄養摂取や食生活改善に関すること
- ③ 口腔機能の向上に関すること
- ④ 認知症予防に関すること  
など



レクリエーションやゲームを楽しむ参加者

# ボランティア活動センター通信

市内11校から72名が参加！

第27回サマーショートボランティアスクールを開催!!

夏休み期間を利用して、高校生の皆さんに、市内の福祉施設等で主体的にボランティア活動を体験する機会を提供し、人との出会いや体験を通して、「自分自身の生き方・人間や社会を見つめる力」を育み、自分たちの住む地域社会の現状や課題を理解していただくことを目的に開催しました。

今年は、41の福祉施設等において、開校式・閉校式を含めた5日間の体験活動を行いました。

また、開校式では、県立平支援学校JRCボランティア部の5名の部員の方々から、学校紹介やJRCボランティア部の活動紹介、また、「私たちのボランティア学」として、それぞれの「思い」についてお話しいただき、ボランティアをする側・される側が、共に学ぶことに意味があるというメッセージをいただきました。

この体験活動の場をご提供いただき、高校生たちを温かく受け入れてくださいました福祉施設及びボランティア団体の皆さまに、心より感謝申し上げます。



開校式における講師  
県立平支援学校JRC  
ボランティア部のみなさん



保育園や福祉施設においての体験の様子



## ★活動先のご紹介 (福祉施設・保育所・ボランティア団体)

養護老人ホーム 徳風園	特別養護老人ホーム 望洋荘	特別養護老人ホーム 亀齢荘
特別養護老人ホーム かしま荘	特別養護老人ホーム 寿限無	特別養護老人ホーム ハートフルなこそ
特別養護老人ホーム 楽寿荘	特別養護老人ホーム サニーポート小名浜	老人保健施設 シーサイドパインビレッジ
老人保健施設 いきがい村	老人保健施設 佳勝園	老人居宅介護等 白鳥の里デイサービスセンター
障がい者支援施設 カナン村	障がい者支援施設 はまぎく荘	障がい者支援施設 ポポロ
障がい者支援施設 自由空間	障がい者支援施設 なないろくれよんテイルーム	障がい者支援施設 いわき光成園
障がい者支援施設 創造空間	障がい者支援施設 ミント	障がい者支援施設 ちゃーむ
障がい者支援施設 セカンドハウスわくわく	独立行政法人 国立病院機構いわき病院 (はまぎく病棟、はまなす病棟)	
障がい者支援施設 アライブ	白土保育園	あさひ保育所
永崎保育所	渚保育所	滝尻保育所
下川保育所	泉保育所	玉露保育所
錦保育所	窪田保育所	菊田保育所
常磐第一保育園	小島保育園	
いわき市ボランティア連絡協議会		
(いわき点訳グループ、いわき声の奉仕グループ、いわき手話サークル、要約筆記いわきサークル)		
いわき市社会福祉協議会 (カンガルーひろば、屋内遊び場いわきっずもりもり)		



## ★参加高等学校

平工業高等学校	平商業高等学校	いわき総合高等学校	湯本高等学校
小名浜高等学校	磐城農業高等学校	勿来高等学校	好間高等学校
四倉高等学校	磐城第一高等学校	東日本国際大学附属昌平高等学校	

(順不同、敬称は省略させていただきました)

社協通信

第43回

# いわき市総合社会福祉大会を 開催します!!



いわき市といわき市社会福祉協議会の共催により、福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、いわき市の福祉を高めていく「いわき市総合社会福祉大会」の開催を次の日程で開催いたします。

市民の皆さまも、ぜひご参加ください。

- |           |   |
|-----------|---|
| <b>日時</b> | 平成29年11月22日(水) 午後1時30分から  |
| <b>会場</b> | いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール (いわき市平字三崎1番地の6)   |
| <b>内容</b> | <p>◆表彰・感謝状贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* いわき市長感謝</li> <li>* 社会福祉大会会長表彰・感謝</li> </ul> <p>◆記念講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 演 題 『(仮) 手をつなぐ育成会のこれまでの歩み』<br/>講 師 社会福祉法人 育成会 理事長 高村 トミ子 氏</li> <li>* 演 題 『(仮) 今を大切に』<br/>講 師 脳外傷友の会うつくしま 会員 渡邊 勝子氏・淳也 氏</li> </ul> |



## いわき市老人クラブ連合会からのお知らせ!

### シルバーフェア2017「芸能祭・創作展」を開催します

シルバーフェアは、高齢者が自主的に日ごろの活動の成果を発表できる祭典です。唄や踊りを披露する「芸能祭」と手工芸作品や書道作品等を披露する「創作展」を開催しています。

市内在住の60歳以上の方で、芸能祭で踊りの成果を発揮したい!多くの方に心を込めて作った作品を見ていただきたい!という方は、お気軽にお問い合わせください。

#### ★ 芸能祭 ★

日時:平成29年11月2日(木)  
午前10時開演 午後2時30分終演  
会場:いわき市文化センター大ホール



#### ★ 創作展 ★

展示期間:平成29年11月14日(火)から11月18日(土)  
展示場所:いわき市文化センター 3階大展示室



詳しくは:地域福祉課内 いわき市老人クラブ連合会事務局 ☎24-5313 (直通)

# 地区協議会だより

市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

## ◆小名浜地区協議会 (子育てサロン)



0歳児は月1回、未就園児は月2回の2グループに分け、子育て中のママたちの情報交換とリフレッシュや交流の場づくりを目的に、小名浜市民会館で開催して

います。主任児童委員・民生児童委員の協力のもと、毎月、パネルシアターや季節の行事等を行い、楽しいひとときを過ごしています。

◆詳しくは、小名浜地区協議会 ☎54-2111(代)まで

## ◆勿来地区協議会 (青少年福祉体験学習)



高齢者や身体に障がいを持った方々に対する理解を深めるため、植田小学校の6年生(88名)を対象に、高齢者疑似体験や車イス体験を実施しました。

障がいがある方や高齢者の立場を体験することで、日常生活での不自由さや暮らしづらさを感じ、自分に何が出来るかについて、学ぶ事が出来たようでした。

◆詳しくは、勿来地区協議会 ☎63-2111(代)まで

## ◆常磐地区協議会 (湯〜らり温泉めぐり)



いわき湯本温泉旅館協同組合の協力で、地域資源の活用による高齢者の交流の場と生きがいがづくり、社会参加の促進を図ることを目的に開催しています。

温泉に入ってゆったり過ごし、簡単な体操や歌をうたったり、季節に合わせた行事等を行ったりして、参加者同士の交流を深めています。

◆詳しくは、常磐地区協議会 ☎43-2111(代)まで

## ◆小川地区協議会 (ボランティア養成講座)

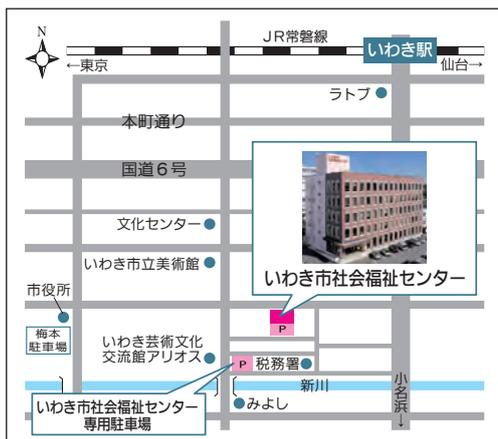


地域活動に関心のある方を対象に、全6回コースで開催しました。

福祉レクリエーションワーカーの七海多美子氏を講師に、「活動を楽し

むことで、自らの心を元気にできる」などのカリキュラムを通し、レクリエーションの必要性について、楽しく学ぶ事が出来たようでした。

◆詳しくは、小川地区協議会 ☎83-1111(代)まで



### 編集後記

赤い羽根共同募金は身近な地域での福祉活動だけでなく、災害が発生した際、被災地への支援活動にも使われています。地震、台風、豪雨…。災害はいつどこで発生するかわかりません。皆さまのたすけあいの心がいわきから全国に届きますように。

広報委員一同

## 皆さまの声をお待ちしております!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしております。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。

住所：いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ▶ <http://www.iwaki-shakyo.com>

メールアドレス▶ [master@iwaki-shakyo.com](mailto:master@iwaki-shakyo.com)



いわき市社協  
ホームページ

